

鳥取発次世代社会モデル創造特区

[指定：平成24年7月、認定：平成25年6月]

正

準

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii) の平均値  $(3.0 + 3.0) / 2 = 3.0$

3.0

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

	評価指標	進捗度	評点
1	商店街の利便性を高めるe-モビリティ交通サービスの実現	34%	2
2	再生可能エネルギーによる災害時集落無停電サービスの実現《定性的評価》	-	-
3	健康情報を高度利用する健康づくりサービスの実現	122%	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値  $(5 \times 0 + 4 \times 1 + 3 \times 0 + 2 \times 1 + 1 \times 0) / 4 = 3.0$

3.0

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。

(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 評価指標1及び3は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が整合しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.0

正：平成26年3月末までに計画が認定された地区／準：平成26年3月末時点では計画が認定されていない地区

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii) の平均値  $(1.0 + 3.0 + 3.3) / 3 = 2.4$

2.4

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

■ 規制の特例措置を活用した事業

・該当なし

専門家による評価の平均値

1.0

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

3.3

### Ⅲ 総合評価

(専門家所見(主なもの))

2.5

- ・これまでの実績に乏しかったカーシェアリング登録者数や電動モビリティの増加等で成果が見られた。
- ・無停電サービスについては、工事の進捗に期待したいが、既に明らかになってきている諸課題(維持管理、運営体制等)について、どのような対策をとるのか、十分な検討を行う必要がある。
- ・健康づくりサービスについて県民の理解を進めるためには、検査結果の健康サービスへの活用法を明確にする必要がある。
- ・特区として規制の特例措置等を活用するよう、必要な措置を改めて検討した方がよいのではないか。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

2.5

### 評価結果

I、II及びIIIを平均して算出  $(3.0+2.4+2.5)/3=2.6$

2.6

(注)評価に係る評点の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5～1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。